

輝け瞳

2024年 1月号

発行:宇治久世教職員組合
宇治市大久保町上ノ山29-1
TEL:0774-44-6191
FAX:0774-44-8026
Mail:ujikuse@khaki.plala.or.jp

宇治市・城陽市に教育請願をおこないました。

全国の約1/3の自治体で給食費の無償化が進んでいます。宇治市・城陽市でも無償化を目指し「給食費を無償にしてください」の内容で2023年12月議会に署名と共に請願しました。宇治市には1416筆、城陽市には664筆の署名を提出しました。城陽市では、「主に予算が2.8億円かかる。」ことや「今優先すべきことではない。」などの意見が出される一方、ある議員からは、「いずれ給食無償化に向けた方向に城陽市がなりたいという内容の請願だから賛成する。」と発言がありました。しかし、賛成少数で不採択となりました。本会議では賛成議員が増えましたが、賛成多数にはならず不採択でした。宇治市では、「給食費の一部助成（原料値上げ分）をする意思があるなら、無償化に向けて進むべきだ。」との意見が出されました。一方、「無償化には4.8億円かかり、財源が確保できない。」などの意見も出されました。委員会、本会議とも賛成少数で不採択となりました。いずれの市も、市民や子育て世代に対して後ろ向きな結果となりましたが、給食費などの教育費の無償化を進めることは、子育て世代に優しい街となり、城陽市や宇治市に住みたいと思う魅力の一つになると思います。今後も様々な機会ですべて安全で安心して子育てできる街になるよう、意見をあげ続けたいと思います。署名への御協力ありがとうございました。

12月8日(金)に赤紙配りと平和アピール駅宣伝を行いました

宇治久世教組は12月8日(金)に近鉄大久保駅前で開戦記念・平和アピール宣伝を母親連絡会、退職教職員の会、グッデイと合わせて12名の参加で行いました。戦時下で使われた召集令状「赤紙」を使用したチラシを30分で130部配布しました。「戦争が日常になっている今日、もう一度戦争の非人道性に目を向け、すぐに戦争をやめさせる世論を起こそう。」と訴えました。



教育課程の見直しで

週時間の削減や放課後の時間の確保を目指そう。

中央教育審議会初等中等教育分科会は、令和5年8月28日に「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）」を出しました。提言の中には、「各学校における授業時数や学校行事のあり方の見直し」の項目で、「特に、令和5年度当初において標準授業時数を大幅に上回って（年間1,086単位時間以上）いる教育課程を編成していた学校は、令和6年度以降の教育課程編成において、見直すことを前提に点検を行い」「可能な学校においては、各学校の実情を踏まえ、令和6年度を待つことなく、今年度途中からであっても改善を進めるべきである。」としています。（裏面に関連資料あり）各校では、来年度の教育課程の編成時に中教審の提言についての説明を求め、週当たりの授業時数や放課後の仕事を少しでも余裕有るものに変えていきたいと思います。教育課程の編成権は各学校にあります。久御山町では実際にこの提言に沿って教育課程の論議が始まっています。

2024年1月6日(土)に 能登半島地震救援募金活動を行いました

宇治久世教組は2024年1月6日(土)に近鉄大久保駅前で能登半島地震の被災者のための救援募金活動を行いました。書記局会議後に6名が参加しました。短時間の宣伝でしたが、6,642円の募金がありました。各分会へも募金の呼びかけを行います。ご協力をお願いします。募金は京都総評を通じ、被災された方々への支援金および支援行動に関わる費用として全額活用させていただきます。



京教済は 教職員の安心をサポートします。

掛け金600円/月で退職時に全額返金される総合共済は結婚、出産等の祝い金、災害時の見舞金等が給付されます。教職員賠償責任共済や、くらしの賠償責任共済（自転車事故にも対応）などと合わせて900円/月です。

